



岩崎りつ子

懐かしさを感じる
貴方、「通」です



ヤギさん

2022年3月3日 株式会社ジェイ・キャスト様が運営されているJ-CASTニュース(j-cast.com)のトレンド欄【J子が行く】で11代目きりっ子MC-22T Plusを取材して頂きました。そこで、今回から3回シリーズで歴代のきりっ子をイメージキャラクターの「岩崎りつ子」と「ヤギさん」が紹介致します。題して【りつ子も行く】 第1弾！

～きりっ子は自動式のカードカッターです～

1993年、作製者が我が子を生み出す想いでロゴを『きりっ子』と手書き致しました。

オンデマンド印刷の一環として印刷業・印章店などプロの方から

名刺やハガキの内製化を行う企業様にもご使用頂いています。

A4サイズの内紙を名刺・ハガキ・短冊などの大きさにカットする事が出来ます。

初代 音が静かな SK-10 (1993年)



きりっ子が産声を上げたその年、日本ではJリーグが開幕し、ランドマークタワーが開業、レインボーブリッジも開通しました。また当時の皇太子と雅子様のご成婚され、沢山の夢が膨らむ年でした。きりっ子SK-10も皆様の夢を乗せて型抜き式で始動致しました。

2代目 波に乗って SK-20 (1996年)



7月20日に海の日が施行されたこの年、波の様なデザインのSK-20Nが装いも新たにスリットカット方式で登場です。

スペースシャトル エンデバーに日本人初の運用技術者が搭乗するなどグローバルなニュースが飛び交う中、きりっ子も世界進出へのスタートラインに立ちました。

3代目 モデルチェンジ！ SK-20N



3代目といえば、歌って踊って演技も出来る。我らがきりっ子3代目は、ハガキに短冊、名刺も切れる！しかもマーク読取機能を搭載し、使いやすさが飛躍的に向上しました。

4・5代目 miniシリーズ登場 SK-201S (1999年) ・ SK-202S (2002年)



20世紀末ノストラダムスの大予言は来ませんでした、デフレ不況が来てしまいました。銀行の統合や日本と外国の自動車会社が資本提携するなど、様々な統廃合などが加速する中、手軽にお使い頂ける卓上型のきりっ子miniシリーズは皆様の強い味方になりました。

